

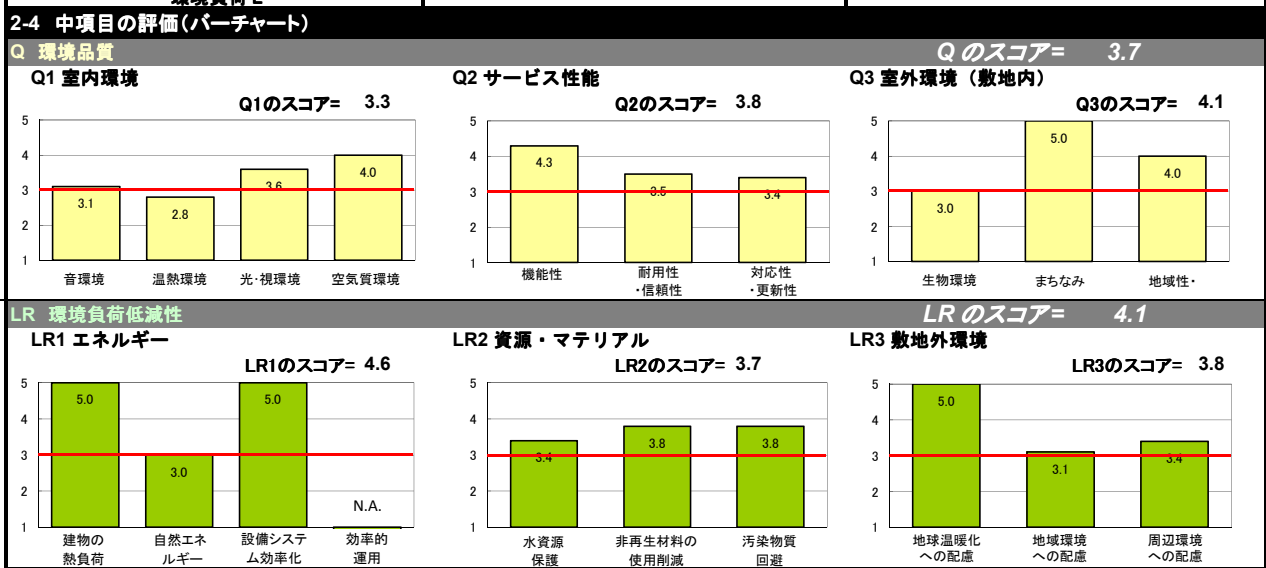
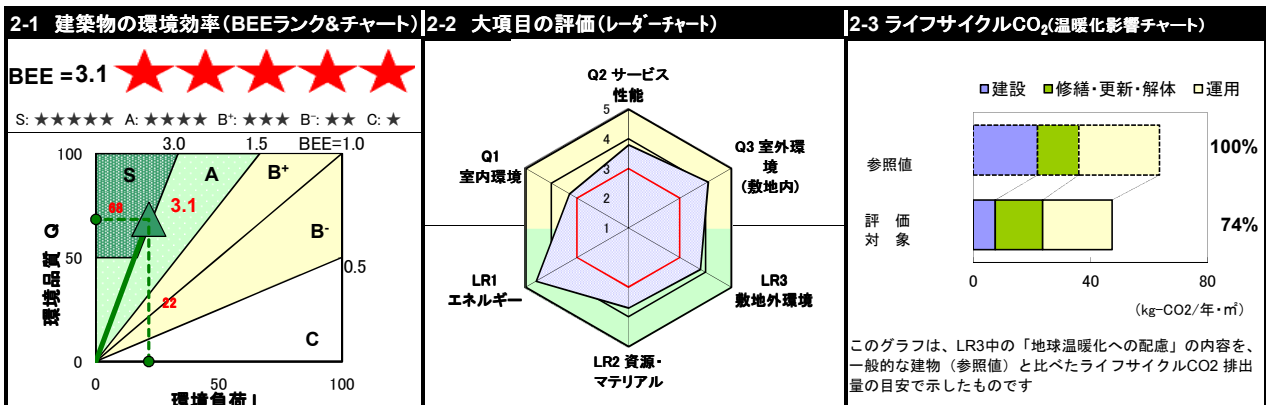


評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 柏 (2010年版)

■ 使用評価ソフト: CASBEE_kashiwa_NCb_2010.v.1.3

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	柏の葉キャンパス148街区住宅計画	階数	地上36F
建設地	千葉県柏市若葉字大久保分233-8他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	976 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2015年3月9日
敷地面積	8,655 m ²	作成者	(株)熊谷組一級建築士事務所
建築面積	1,567 m ²	確認日	2015年3月9日
延床面積	33,256 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		その他
総合 柏の葉キャンパス駅周辺の区画整理事業地域、及び景観重点地区の一部を担い、共用通路であるグリーンアクシスや、147街区との一体性を高めるセンターサークルなど、総合的な景観形成を行い、新しい街作りを提案した。		行政との一体的なまちづくりを行い、共同住宅の計画だけでなく、外部空間や公共施設、アートや遊具の設置など、地域のコミュニティ活動の活性化に配慮した計画としている。
Q1 室内環境 適音性などの音環境や、昼光率などの光・視環境、化学汚染物質に対する空気環境など、居住環境に配慮した設計を取り入れている。	Q2 サービス性能 適正な住空間の確保、中間免震層による構造体の耐用性の向上、メンテナンス性に配慮した配管設備の計画など、継続的に良好な住環境を享受できる計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺街区との一体的なまちづくりを行い、緑豊かな街並みを形成する。又、店舗や保育所などの建物を配置し、地域コミュニティへの貢献を重視している。
LR1 エネルギー 建物の熱負荷を軽減する断熱仕様を初め、高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに努めている。また、非常時には街区全体で電力融通を行い、電力供給を図る計画している。	LR2 資源・マテリアル 構造体や設備機器、仕上材を分離して解体・改修・更新できる計画とし、仕上材には極力リサイクル材を使用することで、部材の再利用ができるよう努めた。	LR3 敷地外環境 社会的な環境基準値を満足した上で、積極的に敷地・屋上・壁面などの緑化を行っている。また、風環境についても街区単位で風環境シミュレーションを行い、風害に対する配慮を取っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

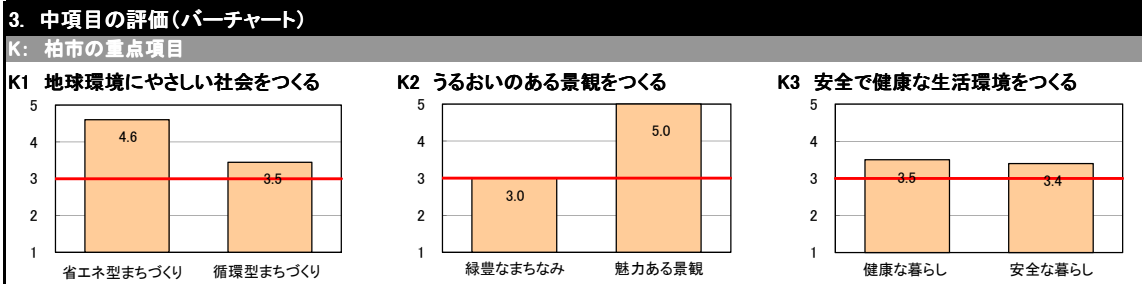


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏 (2010年版) ■使用評価ソフト: CASBEE_kashiwa_NCb_2010.v.1.3

1 建物概要			
建物名称	柏の葉キャンパス148街区住宅計画(東棟)	建築物の環境効率 (BEEランク)	S ★★★★★

2 重点項目への取り組み度			
重点項目	取り組み度※(得点/満点)	評価結果	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	4.0 / 5.0	すばらしい	
K2 うるおいのある景観をつくる	4.0 / 5.0	すばらしい	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.4 / 5.0	ふつう	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>建物の熱負荷を軽減する断熱仕様(性能評価等級4相当の温熱環境)を始め、高効率な設備システム(エコジョーズ)を導入し省エネルギーを実現する。また、非常時には街区単位の電力融通を行い、効率的な電力供給を図っている。</p> <p>現時点で、極力再利用しやすい材料を使用するよう努めている。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制 スコア 5.0 1.2 自然エネルギーの利用 スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化 スコア 5.0 1.4 効率的な運用 スコア 対象外 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用 スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制 スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減 スコア 3.8 2.4 廃棄物処理負荷抑制 スコア 4.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>敷地内緑化や屋上緑化など、緑豊かな計画となるよう努めている。</p> <p>緑地や外装材の色彩等、周辺街区との一体的な景観形成を行い、魅力あるまち並みを実現するよう努めている。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出 スコア 3.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮 スコア 5.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 O
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>化学物質などを含まない建材を取り入れている。</p> <p>中間免震構造を取り入れ、建物の安全性を高めている。また、敷地内の夜間照明や防犯カメラなど、セキュリティ面に配慮した計画としている。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境 スコア 4.0 1.2 バリアフリー計画 スコア 3.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震 スコア 3.4 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -